

科目	母性看護概論				
時間数	1単位 30時間	授業方法	講義	授業時期	2年
講師名	②高橋美由紀				
実務経験	②助産師(医療機関)				
ねらい	母性看護の対象を理解し、母性看護の役割・機能について学ぶ 女性のライフサイクル各期における特徴と看護について理解し、予防的視点をふまえた健康への取り組みを学ぶ				
目標	1. 母性看護の概念を理解する 2. リプロダクティブヘルス/ライツの意義を理解し、母性の発達課題に応じた健康問題を考えることができる。 3. 母性およびその家族への看護の必要性を理解することができる。 4. 母性の対象を取り巻く保健・医療・福祉の現状を理解し、関心を持つことができる。 5. 人間の生命について自己の考えを深め、自分なりの母性看護を考え述べることができる。				
授業計画					
回	内容				
1	母性看護の基盤となる概念① セクシュアリティ、リプロダクティブヘルス/ライツ				
2	母性看護の基盤となる概念② ヘルスプロモーション、母性看護の理念、課題と展望、母性看護における倫理				
3	母性看護の対象と取り巻く社会の変遷と現状① 母子保健統計、法律				
4	母性看護の対象と取り巻く社会の変遷と現状② 母子看護にかかわる施策 母性看護提供システム				
5	母性看護の対象理解 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化 女性のライフサイクルと家族 母性の発達と成熟、継承				
6	女性のライフステージ各期における看護① 思春期・成熟期の健康と看護				
7	女性のライフステージ各期における看護② 更年期・老年期の健康と看護				
8	リプロダクティブヘルスケア① 家族計画とは 性感染症とその予防 HIVに感染した女性に対する看護				
9	リプロダクティブヘルスケア② 人工妊娠中絶と看護 性暴力を受けた女性に対する看護				
10	リプロダクティブヘルスケア③ 喫煙女性の健康と看護 児童虐待と看護				
11	リプロダクティブヘルスケア④ 国際社会と看護 周産期の死と看護				
12	母性看護学に必要な看護技術①マタニティサイクルの身体的変化と特徴、新生児の生理				
13	母性看護学に必要な看護技術②看護過程、情報収集、アセスメント				
14	母性看護学に必要な看護技術③意思決定を支える 親になる過程を促す 母性看護の場と職種 多職種連携 周産期医療体制				
15	学習のまとめ				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験 80%、レポート 20%を総合して評価する。60%以上を及第点とする。				
教科書	母性看護学(1)母性看護学概論:医学書院 ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程:医歯薬出版株式会社				